

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ハッピーテラスー江教室 | | | | 公表日 | 令和8年 2月 10日 |
|---------|-------------|---|-----|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | 東京都の決まりに沿って運営している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | | 東京都の決まりに沿って運営している。 | 利用者全体を見つ必要個別対応を行う難しさはあるが、職員間で役割分担しながら教室運営を行っている。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 1 | 物件の構造上フルフラットとまではいかないものの、極力教室内の段差は少なくしている。車いす等が必要な利用者がいないため、現状状に問題ない。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 1 | 利用者の退所後に教室内の清掃、消毒を行っている。また感染症流行時には、定期的な換気やテーブル等の拭き掃除も行っている。また密にならないようトレーニングルームを広く活用している。 | トイレが一つしかない、教室が横長の形という過ごしづらさがある。トイレに関しては随時声掛けを行っている。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 1 | 必要に応じて相談室や倉庫を利用している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | | 日々の目標、振り返りは日報で確認を行っている。打ち合わせなど日々話し合いを行っている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | 年に1度アンケートを実施し、業務改善につなげるよう事業所内で話し合いを行っている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | 毎日の打ち合わせの際に、職員からの意見の聞き取りを行い、業務改善につなげている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 3 | 第三者による外部評価は行っていないが、本部職員の見回りにてご指導をいただいている。また他教室間での職員の行き来があり、意見交換や業務改善を行っている。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | 月ごとに研修内容を決め、事業所内で研修の実施、外部の虐待防止研修などに参加している。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | トレーニングテーマは毎月の通信にて公表し、トレーニングで取り組んだプリント等を持ち帰って頂いている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | | 保護者アンケートや面談、日々の利用者のアセスメントを元に作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | 日々の記録や指導員からの情報を元に作成し、全職員と内容を共有している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | 毎日の打ち合わせで当日の利用者の確認や現在の状況についての共有を行い、計画に沿ったサポートを行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | 医師による診断結果や標準化されたアセスメントツール（検査）の結果を共有して頂き、支援に活用している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | アセスメントは都度行い、利用者に必要な支援について話し合い計画の見直しを行っている。また、スモールステップでクリアしているような目標を設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | イベントや日々のトレーニング内容など全員で相談しながら決定している。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | | 週ごとにトレーニングテーマを決めている。季節を踏まえたイベントを取り入れたり、ソーシャルスキルのトレーニングに取り組んでいる。個々の目標を踏まえてプログラムを組み立てている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | | 利用者同士が密にならない工夫をしながら、グループワークや個々のトレーニングを行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | 利用者の登所前に毎日打ち合わせを行い、当日の利用者に適した支援を行えるよう全体で確認をしている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | | 口頭では気になった点のみ話し合い、後は記録にて共有している。 | 支援終了後当日の共有を毎日行う事は出来ていないため、記録や翌日の打ち合わせで情報共有を行っている。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | その日の利用者の様子をその日のうちに記録し、翌日には各自で記録の確認するようにしている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | 日々のアセスメントと、半年を基準とした保護者との面談により計画の見直しを図っている。また毎月振り返りを作成し、保護者と相談支援事業所にお渡ししている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 4 | | 工作やお菓子作りなどの創作イベント活動や、外出イベント、余暇活動などを行っている。 | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | | 集団レクや自由時間等を使い、利用者間で自発的にやりたい遊びや作業を選択できるように支援を行っている。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | 担当者会議が行われる際は、責任者や該当児童に詳しい指導員が出席するようにしている。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 1 | 体制を整えている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 2 | 2 | 学校のホームページや保護者、移動支援員と確認を行い、利用者が安全に登所することが出来るように調整をしている。 | 当事業所からは連絡をとったことはないが、下校後の登所確認などで連絡を頂くことがある。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 2 | 保護者の情報提供等で、アセスメントを活用し理解を深めている。また、相談支援事業所を通じて情報共有を行っている。 | 当事業所からは連絡をとったことはないが、利用開始時に相談支援事業所との情報級を行っている。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 1 | 相談支援事業所を通じて連絡を取り合い、情報を共有、提供等している。 | ほとんどが就職しているためあまりないが、情報共有を求められた際に対応できるようにしている。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 1 | 3 | 必要な外部研修があれば受け、受けたスタッフから日々の打ち合わせで全員に内容を共有するようにしている。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | 4 | 地域施設との活動交流を実現するのは難しい。また知られたいくない、必要ないという意見の保護者も多い。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 2 | 江戸川区放デイ連絡会に参加している。他事業所の現状や課題など聞く事が出来ている。 | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|-----------------------------------|---|---|
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | 毎月の振り返りや送迎時、連絡帳への記入で日々の様子をお伝えしている。 | 帰りの時間が同時刻の利用者が多数いる場合、保護者お迎え時にエントランスにて日々の様子を伝えることが難しい（建物の構造上）。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 2 | 相談支援事業所や支援センターからいただいたセミナーのチラシを掲示している。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | | 契約時に説明を行い、不明点等あれば随時確認している。変更等発生した際はその都度説明を行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | アセスメントは都度行い、全職員で支援について話し合いを行っている。定期的に計画の見直しを行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | | 目標等の内容と不備がないことを確認していただき、同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | お迎え時や面談を通してお話を伺うことがある。面談が必要な場合は随時行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | 4 | 周囲に知られたくないという保護者もおり開催は難しいが、今後要望が多ければ交流会などを検討したい。また父母の会もない。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | 事故発生時は速やかに共有し、再発防止のための対策を立てている。またポスター掲示も行っている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | SNSは利用していないが、各教室で毎月ハッピーテラス通信を発行、利用者へ配布し、トレーニングテーマの伝達や活動報告を行っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | 教室ごとに個人情報の管理に努め、利用者との契約時に個人情報についての同意書にサインをいただいている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | 情報伝達については口頭のみではなく、紙面でもお伝えするようにしている。意思の疎通が難しい利用者については、保護者にも直接お伝えしている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 2 | 放課後等デイサービス合同説明会に参加し、広く活動を知っていただけるようにしている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | 契約時に策定している事を説明し、実際の訓練時には、連絡帳に記録している。また年度ごとに緊急連絡カードを全利用者に提出していただいている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | BCPを策定している。避難訓練は年2回と、水害時対応の訓練を年1回実施している。避難訓練を行う際は事前に通信で通知し、実施したことを連絡帳に記載している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 3 | | 初回面談やアセスメント時に服薬や発作等聞き取りを行い、対応の仕方について保護者に確認を行っている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 3 | 1 | 初回面談やアセスメント時にアレルギーの有無の聞き取りを行っている。調理イベントではアレルギー食品が含まれることが無いよう対策している。 | 医師の指示書は頂いていないが、保護者から対応の仕方について確認をしている。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | 安全計画の作成を行い、必要な措置をとっている。安全管理の元支援を行っている。 | |
| 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | | 契約時に子供の安全管理や教室内の設備の工夫についてお伝えしている。 | | |

| | | | | | |
|----|--|---|--|---|--|
| 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | 過去のヒヤリハット等随時振り返ることができるよう、共有キャビネットに保管している。ヒヤリハットの事例検討も行っている。 | |
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | 毎月の事業所内研修や外部の研修に参加し共有している。自己評価チェックも行い意識づけを行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | | 現在、身体拘束を行うに至る利用者はいない。身体拘束を行う際は、必ず保護者の事前説明と了解を得る決まりになっている。 | |